



ざっくり 聖書入門

「エレミヤ」 ～預言者たち～

列王記・エレミヤ書



【聖書入門 全12回のアウトライン♪】

■旧約聖書■

- ①アダム
- ②ノア
- ③アブラハム
- ④ヤコブ
- ⑤モーセ・前編
- ⑥モーセ・後編
- ⑦ダビデ
- ⑧エレミヤ(預言者たち)

■新約聖書■

- ⑨メシア・前編
- ⑩メシア・後編
- ⑪使徒たち
- ⑫今を生きる私たち

【今日のアウトライン】

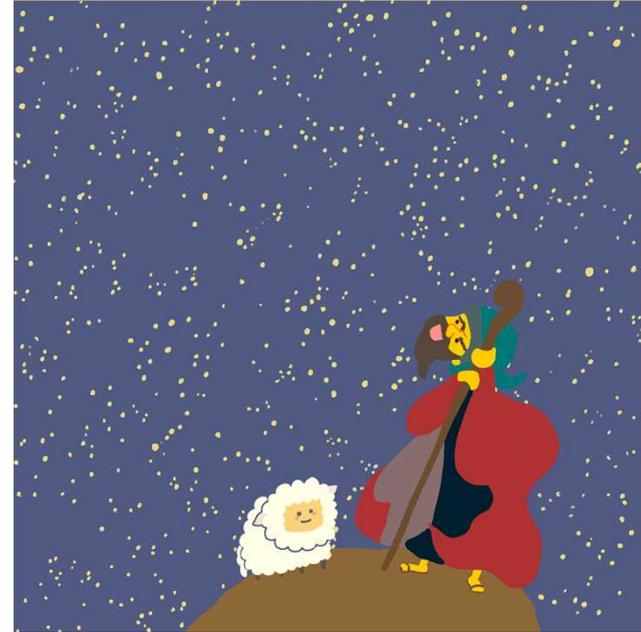
ふりかえり

- I. 王国の分裂と滅亡
- II. 南北時代の預言者たち
- III. 涙の預言者エレミヤ
- IV. 新しい契約
- V. エレミヤに学ぶこと



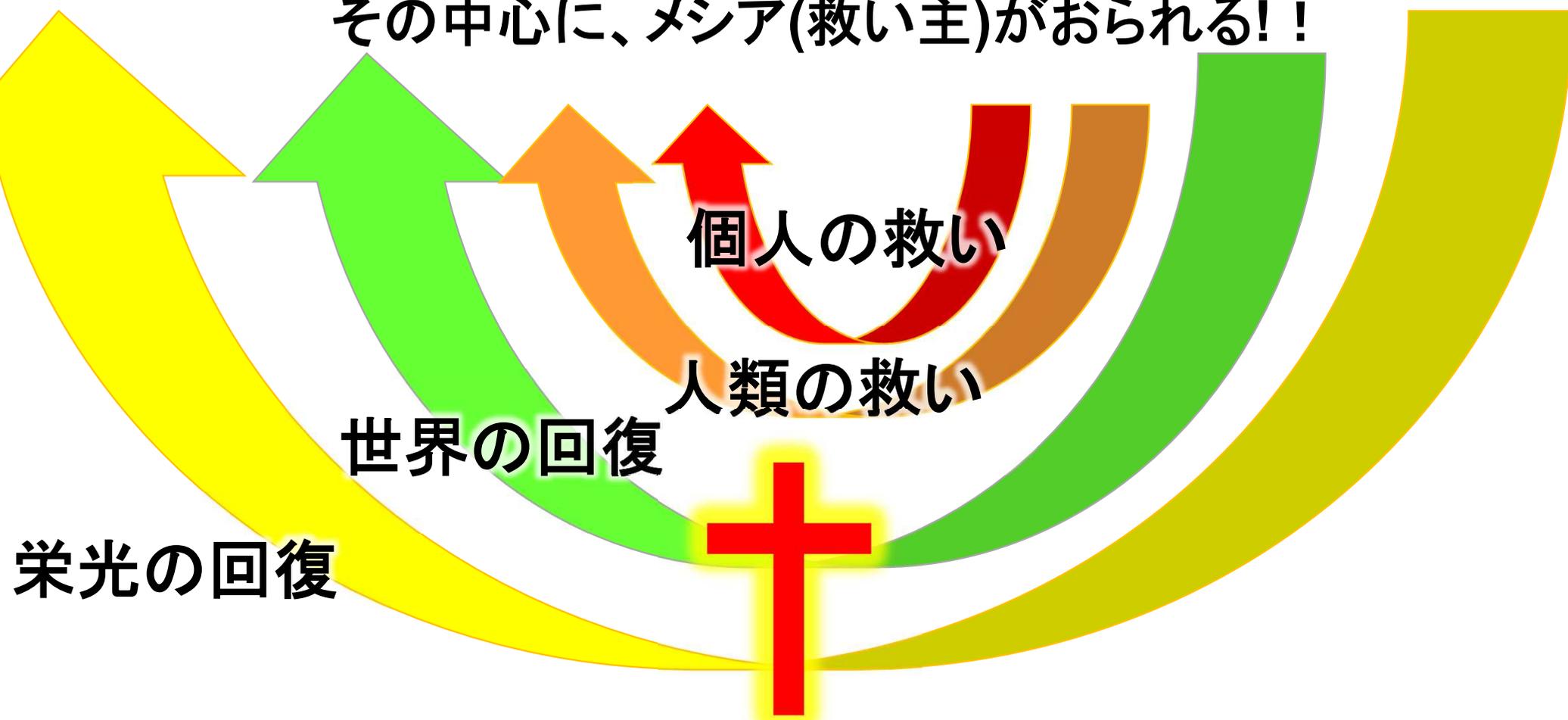


ふりかえり



聖書の最大のテーマは、「神の栄光の回復」

世界に神の栄光が回復される時、すべて回復される。
その中心に、メシア(救い主)がおられる!!



【アブラハム契約とは？】

■ 聖書全体を貫く、大原則

神の世界回復と人類救済計画の柱

【三つの主な条項】

① 子孫の約束

② 土地の約束

③ 祝福(地上の諸民族の祝福)の約束

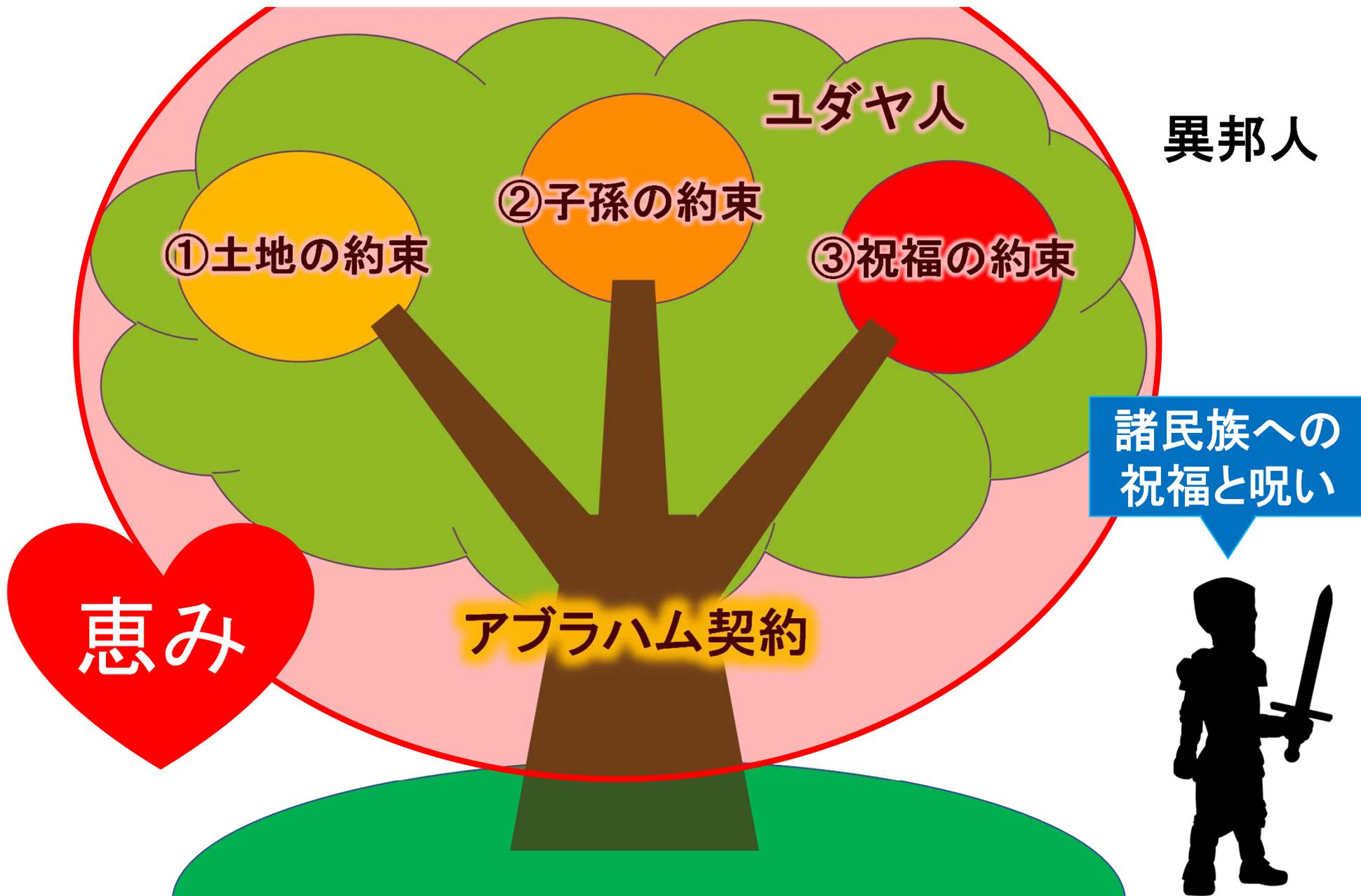
※付帯条項 ... 祝福と呪い。イスラエルの生存保証。

※しるし ... 割礼

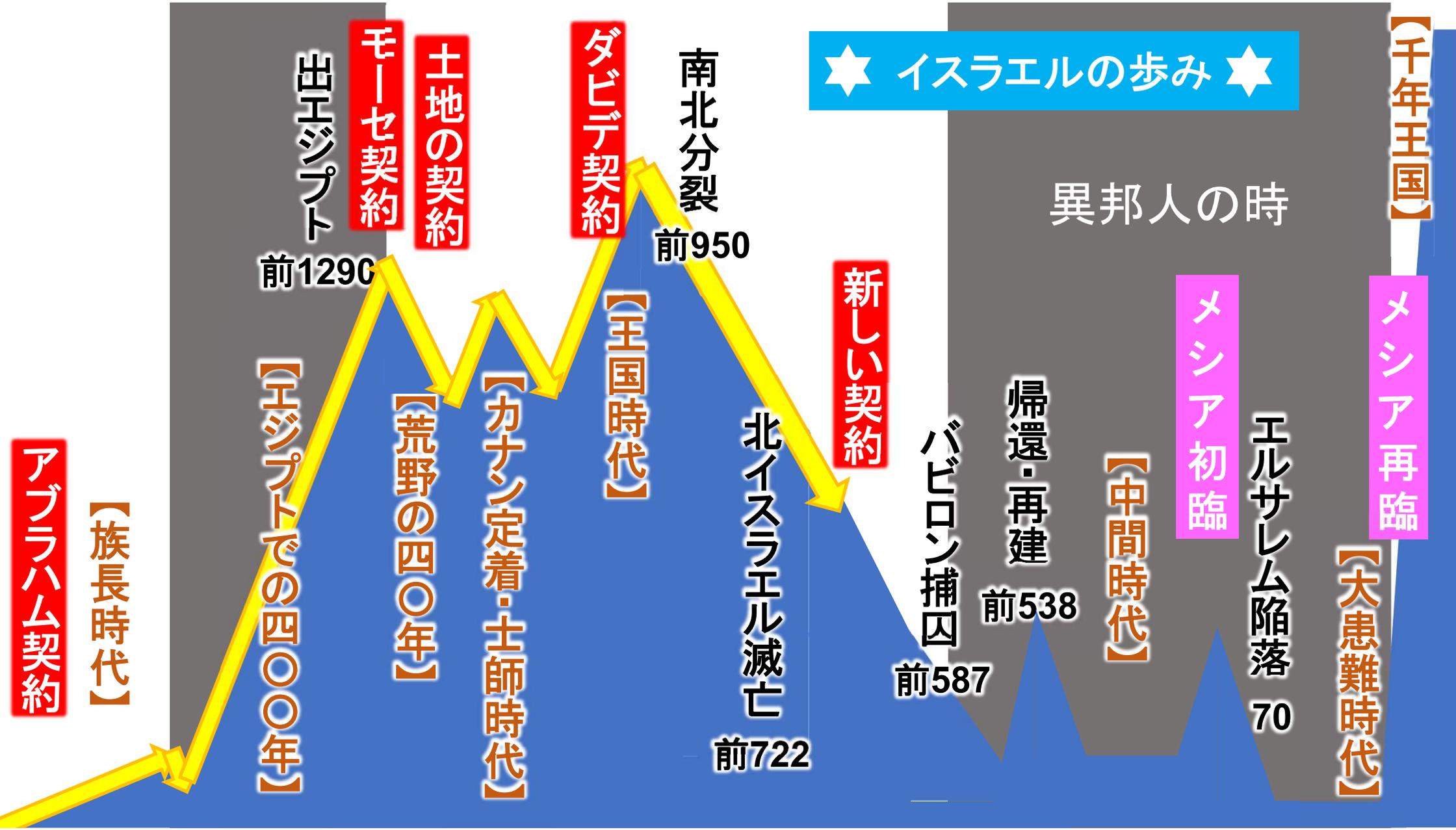
神の契約が、
アブラハムと子孫を
守り、導く



【アブラハム契約】



★ イスラエルの歩み ★



アブラハム契約

【族長時代】

【エジプトでの四〇〇年】

【荒野の四〇年】

【カナン定着・士師時代】

【王国時代】

北イスラエル滅亡

バビロン捕囚

【中間時代】

メシア初臨

【大患難時代】

メシア再臨

【千年王国】

異邦人の時

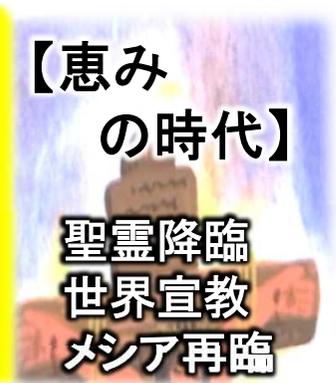
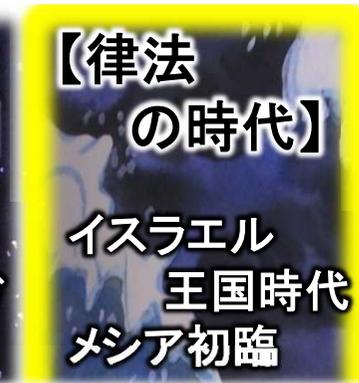
前1290

前950

前538

前587

70



【恵みの時代】

【良心の時代】

【人類統治の時代】

【約束の時代】

【律法の時代】

【恵みの時代】

【御国の時代】

天地創造

墮罪
~大洪水

バベルの
塔事件

アブラハム
~ヤコブ

イスラエル
王国時代
メシア初臨

聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

千年王国
大審判
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

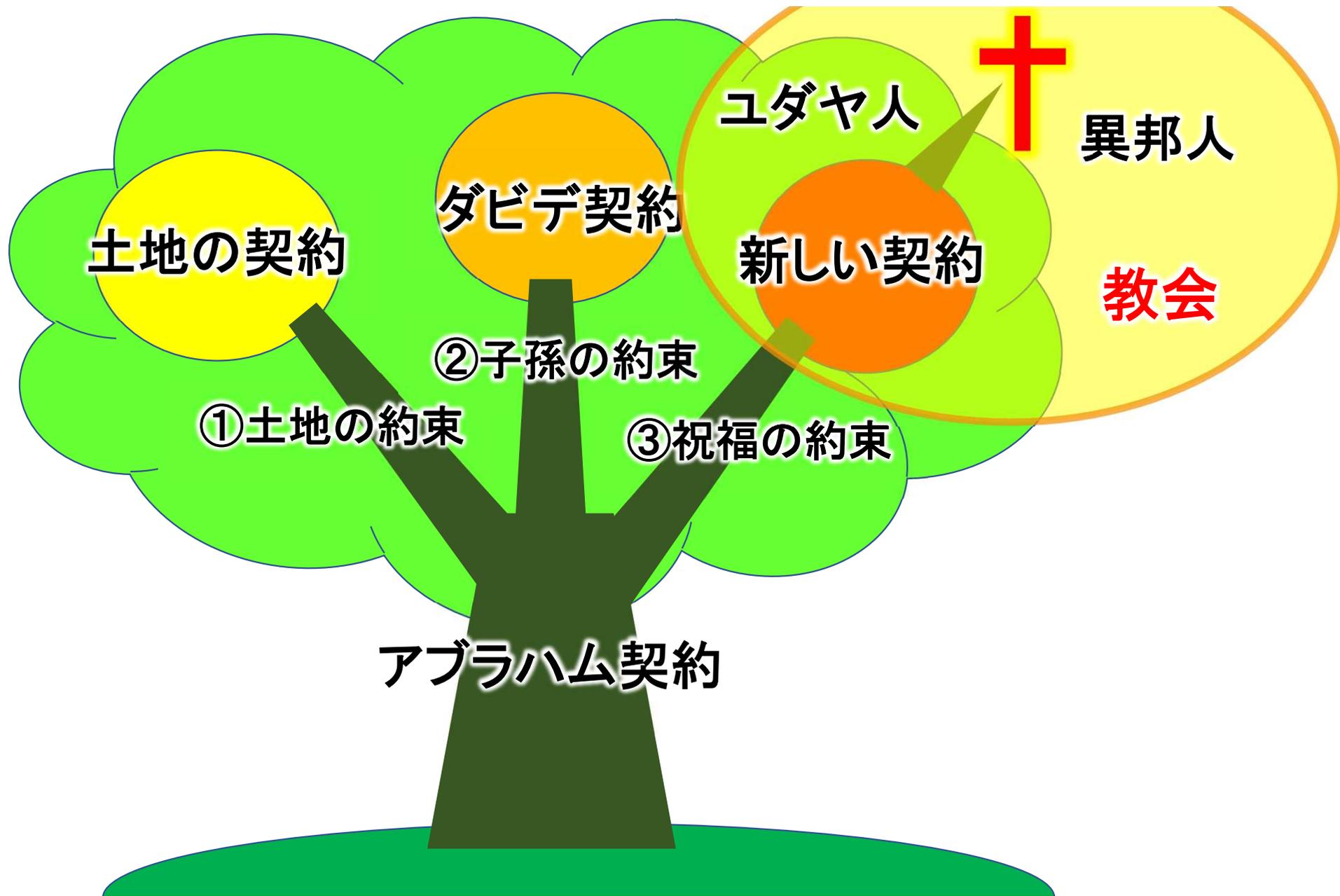
⑧新しい契約

神の約束が、人類と世界の歴史を導く!!

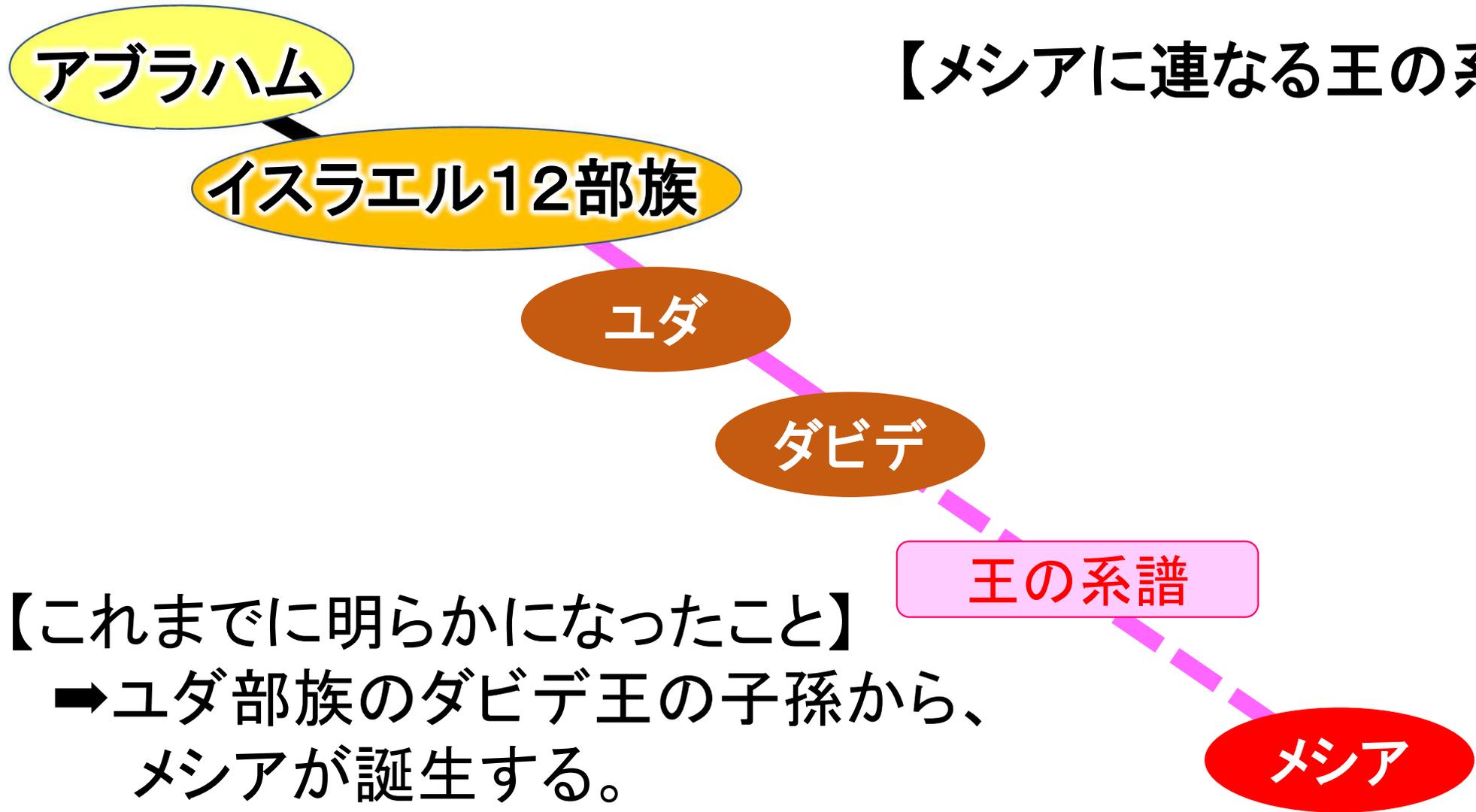
過去

現在

未来



【メシアに連なる王の系譜】



【これまでに明らかになったこと】

➡ユダ部族のダビデ王の子孫から、
メシアが誕生する。

「ダビデの子」は、メシアの称号の一つ。

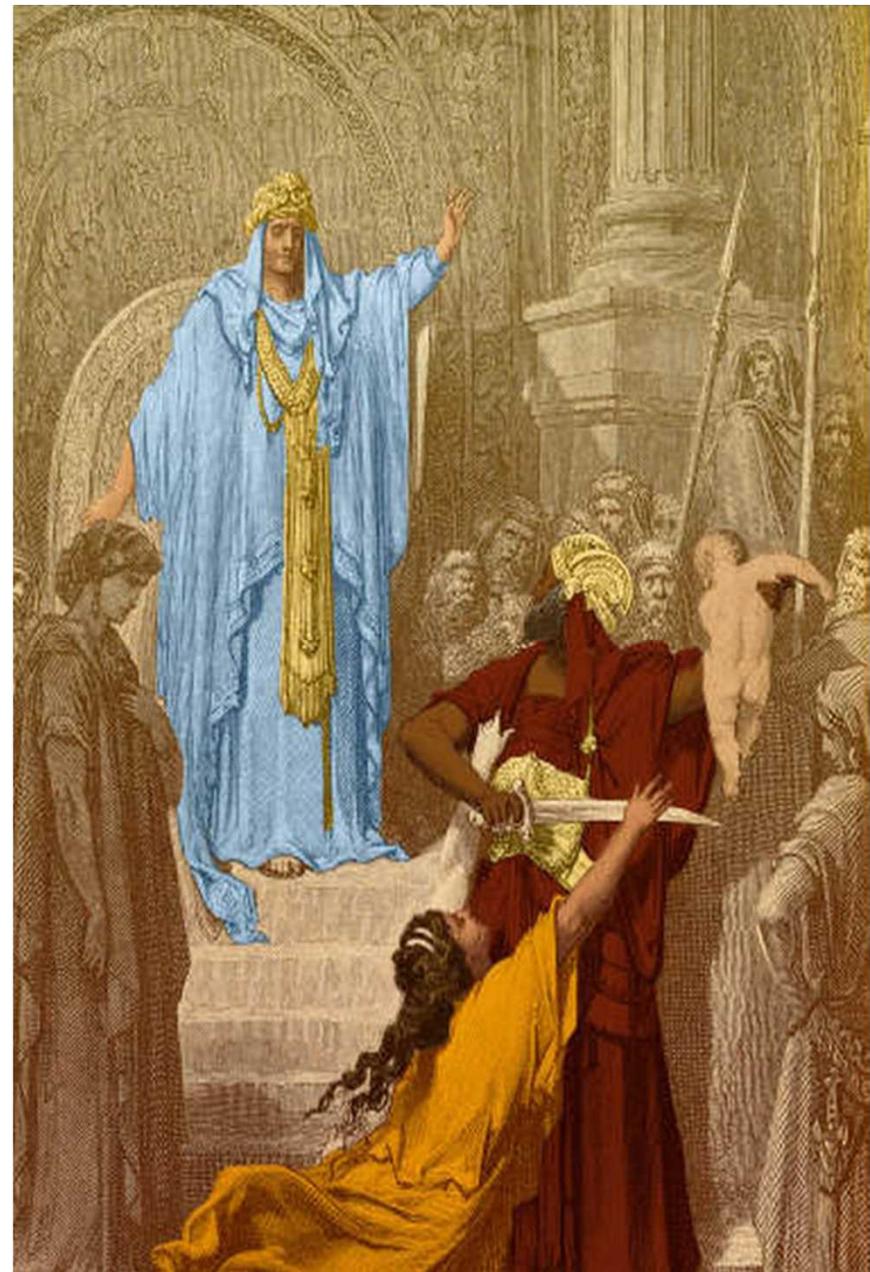
I.王国の分裂

ソロモン王時代の
繁栄と背き
イスラエルの南北分裂



【ソロモン王の繁栄】 I 列王記1～10章

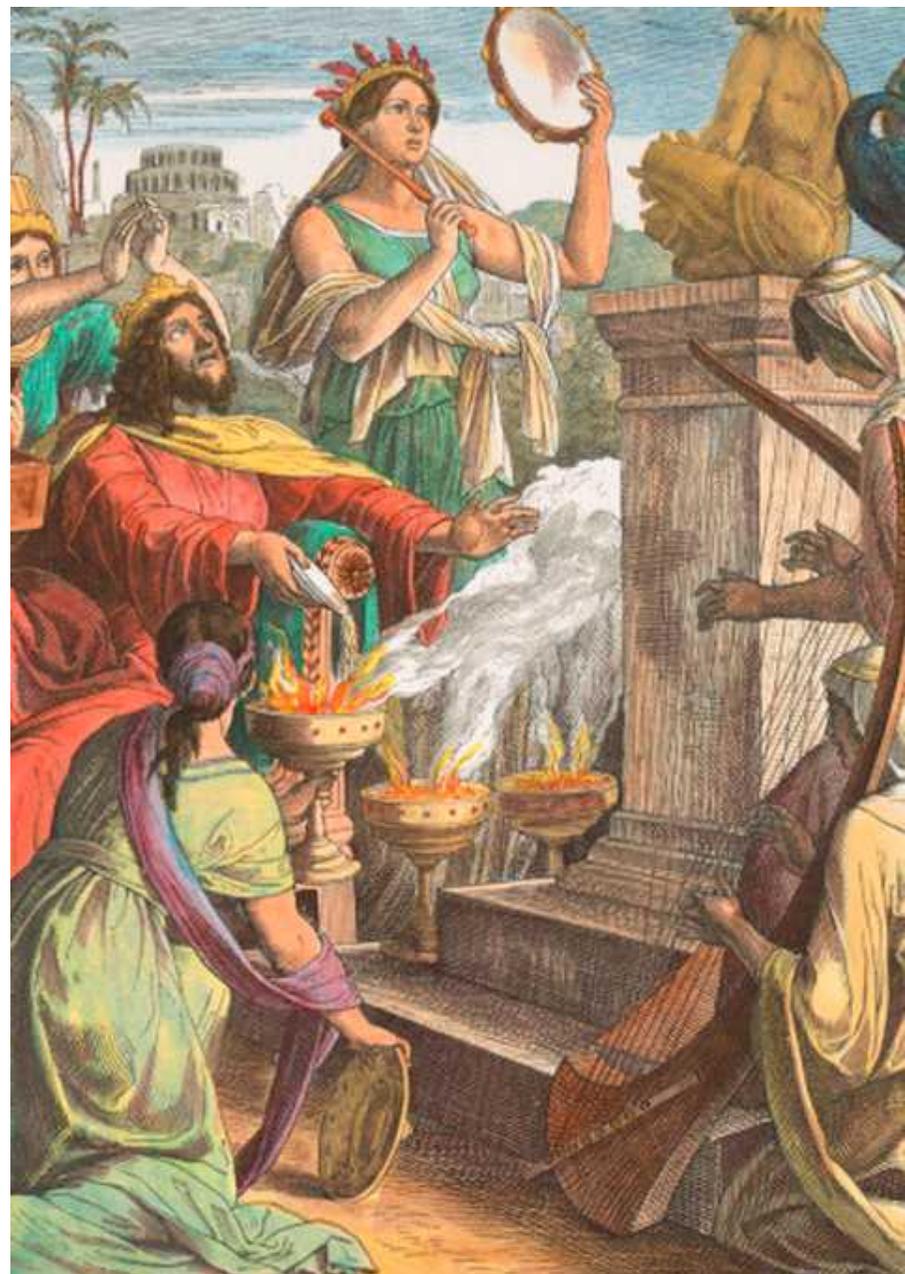
- ダビデの後、息子ソロモンが王となる。
若いソロモンは、神に知恵を求め、
神は、知恵に加えて、富と名声を与えた。
- ソロモンの最大の功績は、
エルサレムに神殿を建設したこと。
→ 神殿の至聖所に、神の栄光、
シャカイナグローリーが宿った。
- イスラエルは、繁栄を極めた。



【ソロモンの背教】 I 列王記11章

- ソロモンは、エジプトや、周辺諸国と、政略結婚を繰り返し、700人の妃たちがエルサレムに多くの偶像を持ち込んだ。
- ソロモンは、妃たちの偶像礼拝を認め、ついには自らも、神から離れてしまった。

I 列11:11～12「あなたがこのようにふるまい、わたしが命じたわたしの契約とおきてとを守らなかったので、わたしは王国をあなたから必ず引き裂いて、あなたの家来に与える。しかし、あなたの父ダビデに免じて、あなたの存命中は、そうしない。」



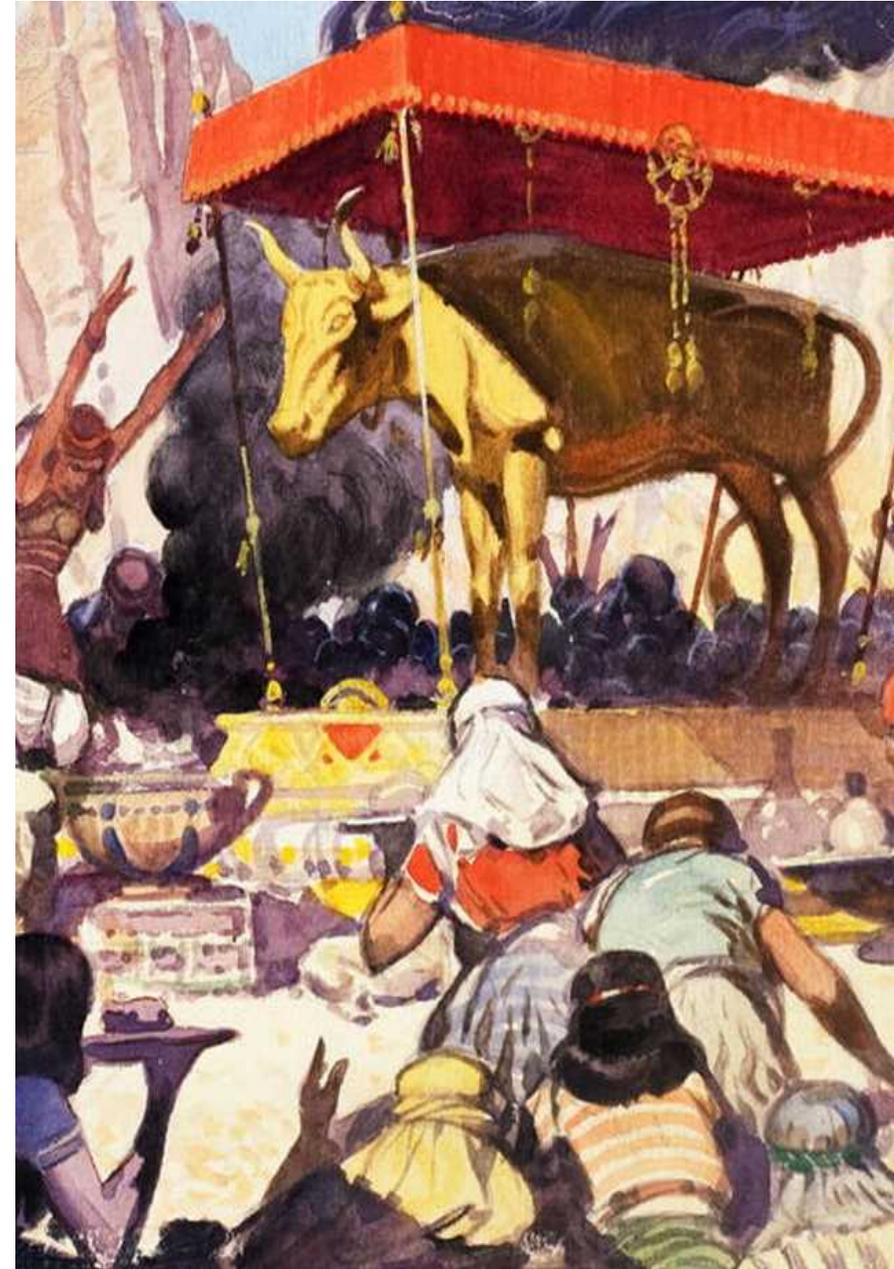
【王国の分裂】 I 列王記12章

■ ソロモンの死後、王国は分裂した。

★ **北王国**(北の10部族)・イスラエル

★ **南王国**(南の2部族)・ユダ

■ 北王国の王となったヤロブアムは、
領地の北端のダンと南端のベテルに
神殿を築き、金の子牛を設置した。
⇒(ネバテの子ヤロブアムの道)



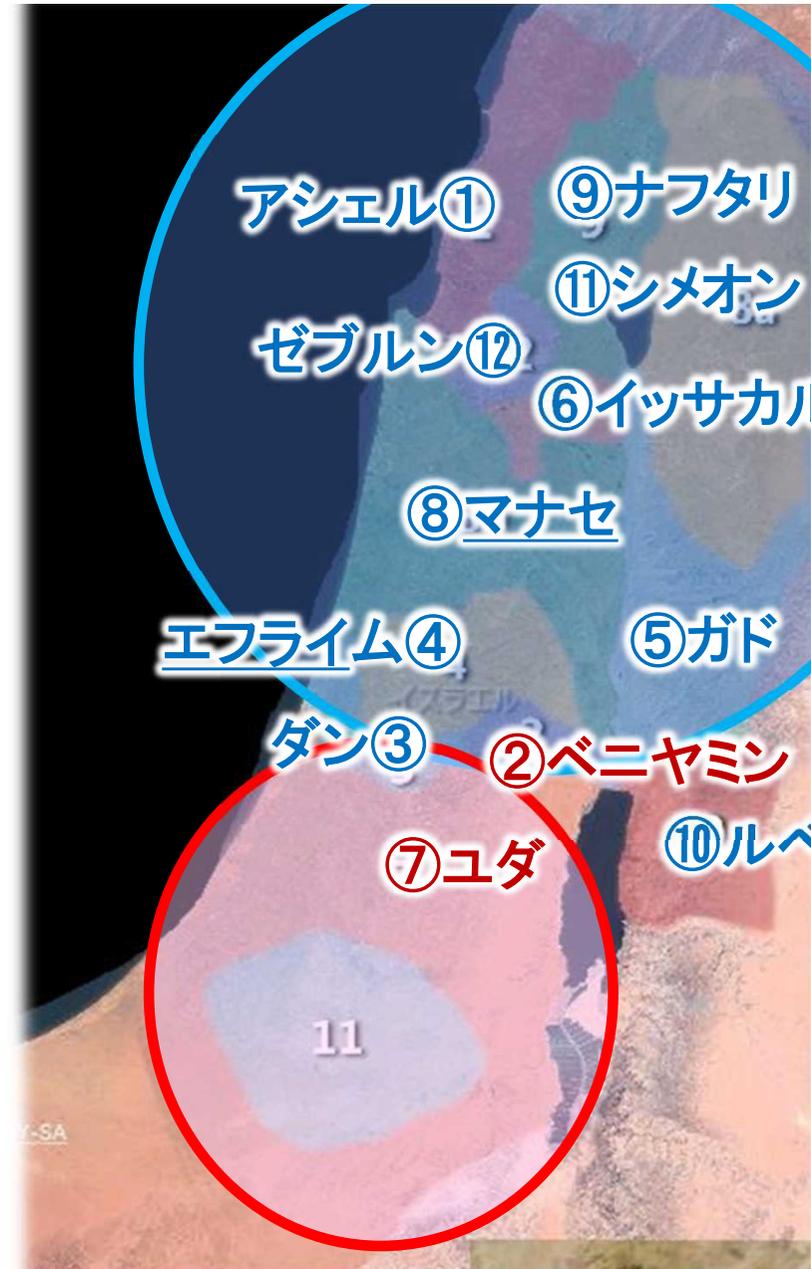
【北王国と南王国】

北王国・イスラエル (北の十部族)

- ①アシェル ③ダン ④エフライム
- ⑤ガド ⑥イッサカル ⑧マナセ
- ⑨ナフタリ ⑩ルベン ⑪シメオン
- ⑫ゼブルン

南王国・ユダ (南の二部族)

- ⑦ユダ ②ベニヤミン



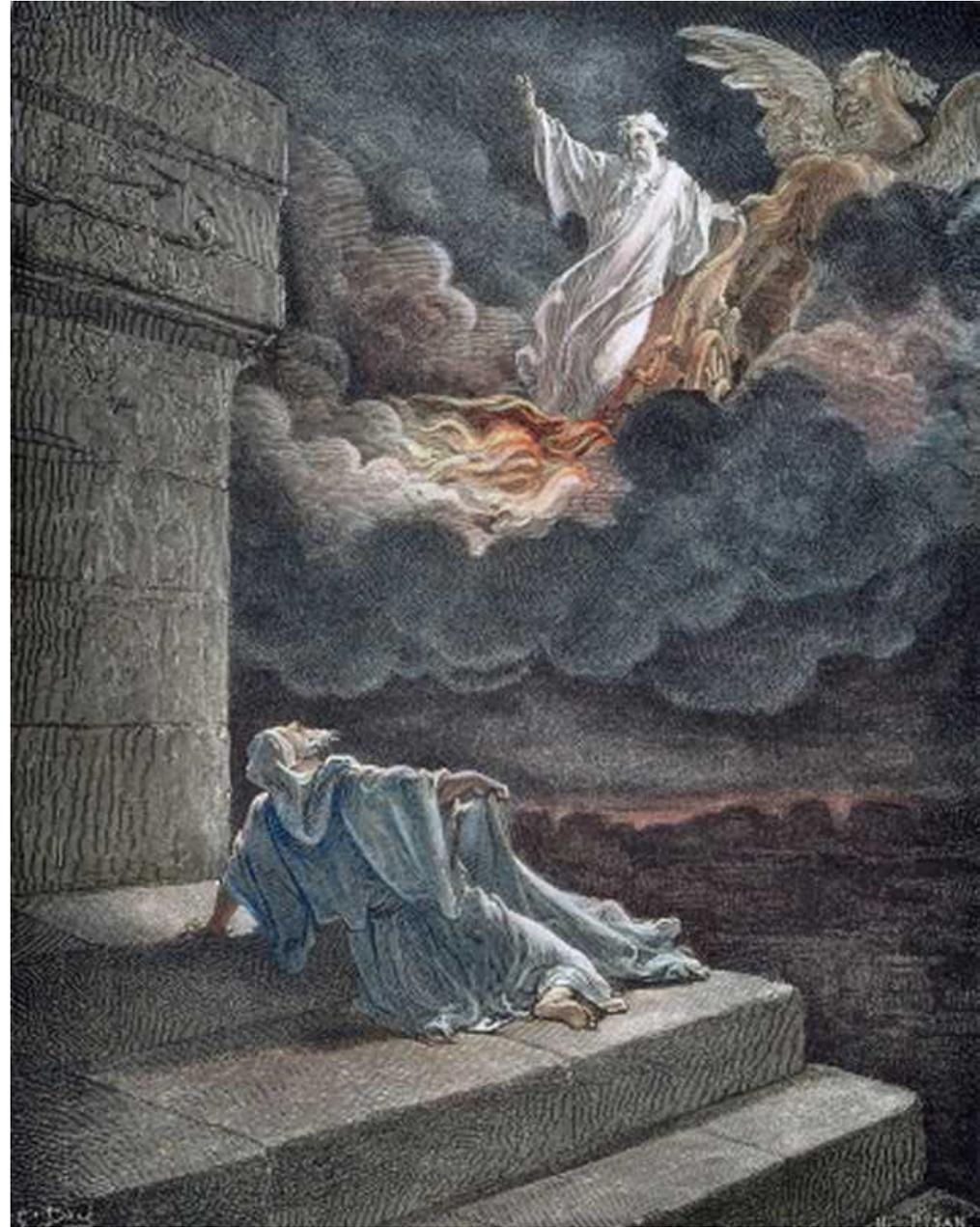
【北王国・イスラエル】

- ①210年間に、
19人の王、9王朝が興亡。
王朝が変わると皆殺し。
- ②神に従う善王は、ゼロ。
ひたすら神に背き続けた。
- ③アッシリアに滅ぼされる。
「アッシリア捕囚」 BC721

【南王国・ユダ】

- ①350年間に、20人の王。
女帝アタルヤ以外は、
ダビデの血筋が受け継がれていく。
- ②8人は善王。
 - ・背教と悔い改めを繰り返す。
 - ・悪王マナセの時代に裁きが決定。
 - * ヨシヤ王の宗教改革 ➡ 律法の回復。
- ③最後は、バビロニアに滅ぼされる。
「バビロン捕囚」 BC586

Ⅱ. 南北時代の 預言者たち



【預言者って？】



預言者とは

神の言葉を預かり、
イスラエルに伝える者。

神のメッセンジャー!!

【今も預言者はあるの？】

いません!!

■ 預言者が活躍したのは、
使徒の時代、新約聖書が完成される時まで。

■ 今の時代に必要な神の言葉、情報は、
旧新約聖書66巻によって、すべて与えられています。

預言者の役目は終わっています!!



※告げた預言が100%正しくなければ、預言者ではありません!!

今の時代の“自称預言者”は、すべて “偽預言者”です!!

【預言者とは？】

- ① 神の言葉を預かり、イスラエルに伝える者。
- ② 預言者の伝えたこととは？
“悔い改めて、律法に立ち返り、神に従うこと!!”

出 19:4~5「あなたがたは、わたしがエジプトにしたこと、また、あなたがたを鷲の翼に載せ、わたしのもとに連れて来たことを見た。

今、もしあなたがたが、まことにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはすべての国々の民の中であって、わたしの宝となる。全世界はわたしのものであるから。」



【預言者の活躍した時代とは？】

- 預言者は、イスラエルの危機に遣わされる。
- イスラエルが南北に分裂し、神に背いた時代に、最も多くの預言者が現れた。

【北王国の預言者エリヤ】

- ① エリヤは、王と民に厳しく警告し、偶像神のバアル礼拝者と戦った。
- ② わずかな者だけが、神に従った。
「イスラエルの残れる者」...レムナント。
- ③ エリヤは、生きたまま、天に挙げられた。
➡ 携挙される教会時代の信者の型。



【預言者たちと奇跡・しるし】

■ 預言者たちは、様々な奇跡を通して、
神の警告を民に告げた。

➡ 奇跡は、神の意志の確かな現れの「しるし」。

■ 奇跡が数多く起こっているのは、三つの時代

① 出エジプトからカナン征服

② 南北時代 → 預言者の時代

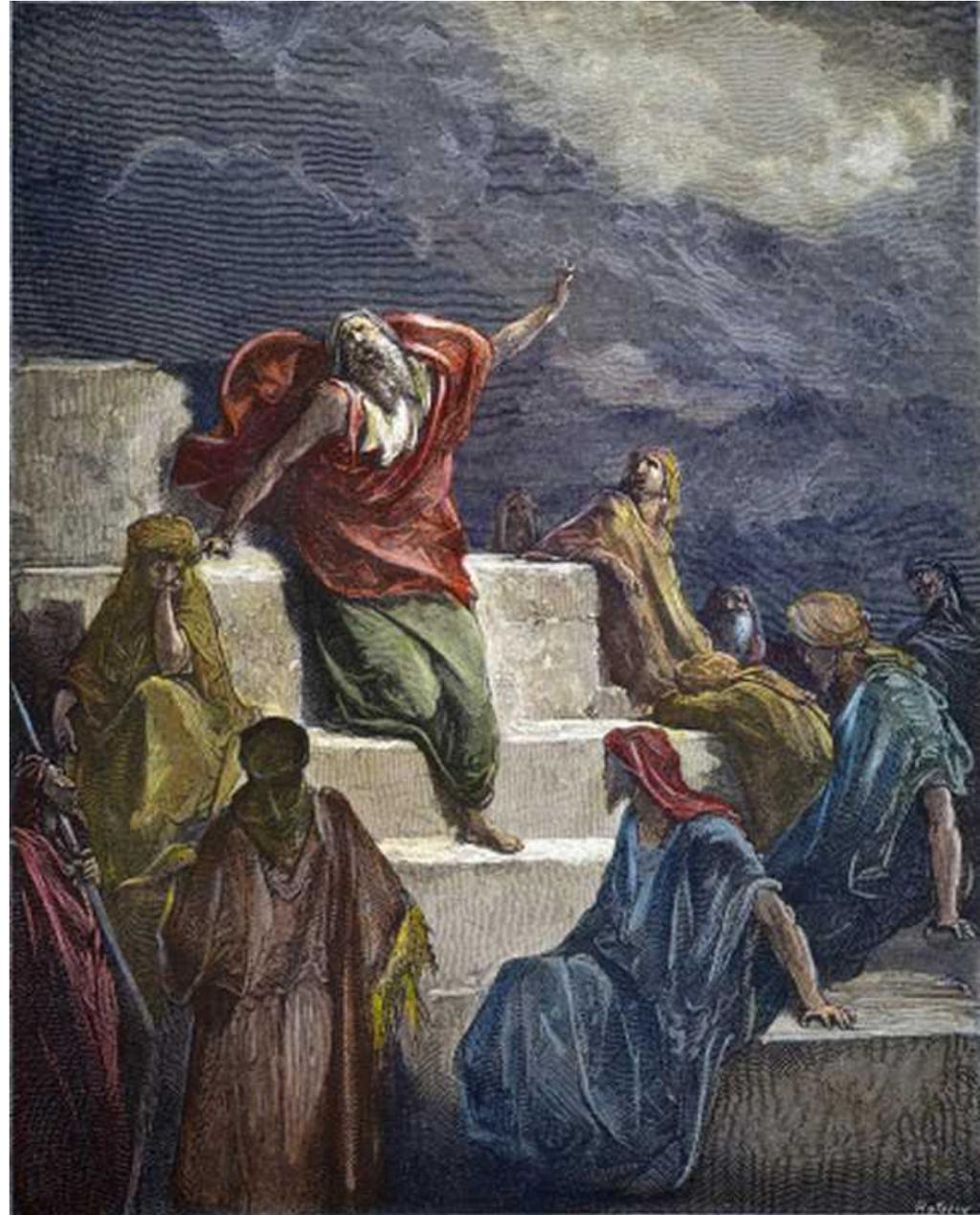
③ イエスの時代

■ 神が奇跡を起こすのは、特別重大な時。

南北時代は、イスラエル・ユダの危機の時代。



Ⅲ. 涙の預言者 エレミヤ



【エレミヤのプロフィール】

①祭司、レビ族出身（ベニヤミン領内の町アナトテ）

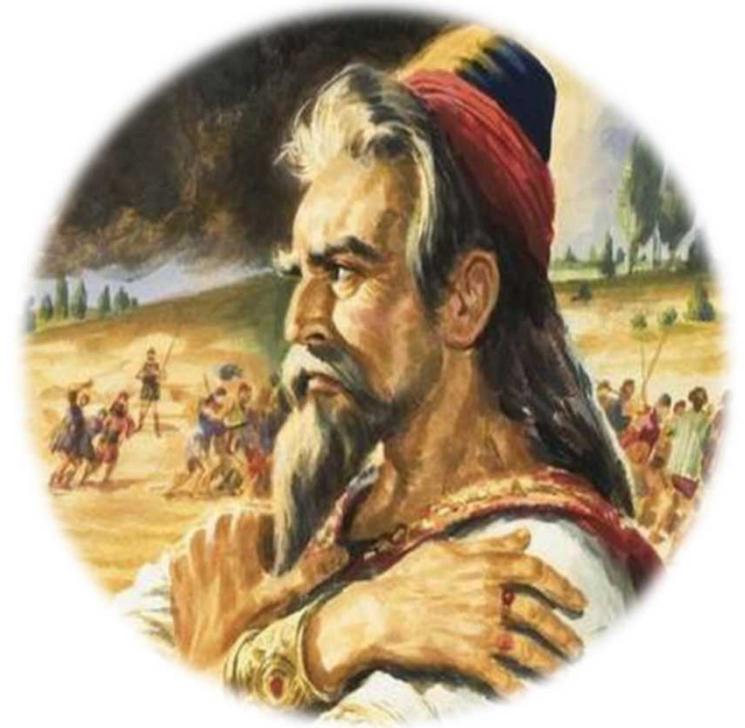
②若くして預言者に召される。

③生涯独身。

④繊細で、慎み深い人。

しかし、イスラエルの罪を厳しく糾弾する奉仕に用いられた。

⑥イスラエルの苦難の時代に生き、
「涙の預言者」と呼ばれる。



【エレミヤの活動した時代】

①南王国・ユダの末期

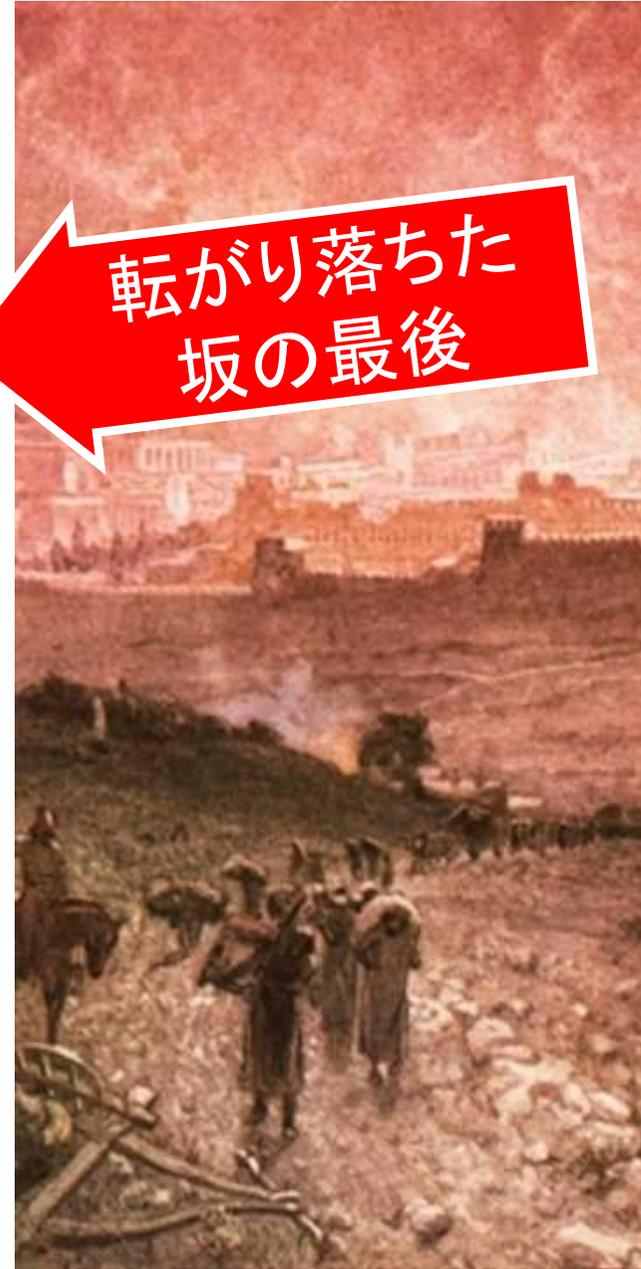
★宗教改革者ヨシヤ王の時代から、最後の王ゼデキヤの時代まで。

★バビロニアの脅威が増し、南王国が滅亡するまでの時代。

②紀元前587年、バビロン捕囚

エルサレムはバビロニアに破壊され、住民の多くが、強制連行された。

転がり落ちた
坂の最後

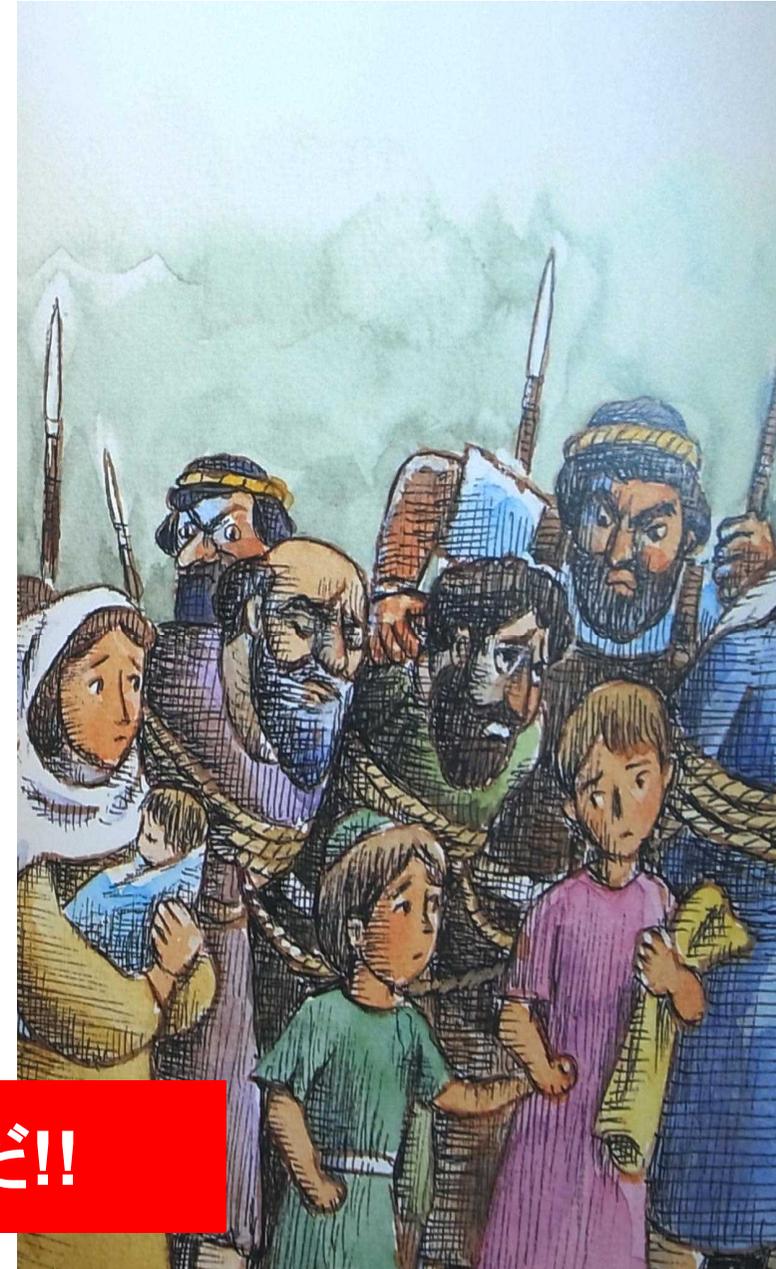


【エレミヤの預言したこと】

- ①偶像礼拝の罪の糾弾
- ②70年の捕囚
- ③捕囚からの帰還と国の再建
- ④新しい契約
- ⑤周辺諸国に対する裁き

日に日に脅威が増し、滅亡が迫る中、エレミヤは、民に厳しい警告を告げた。

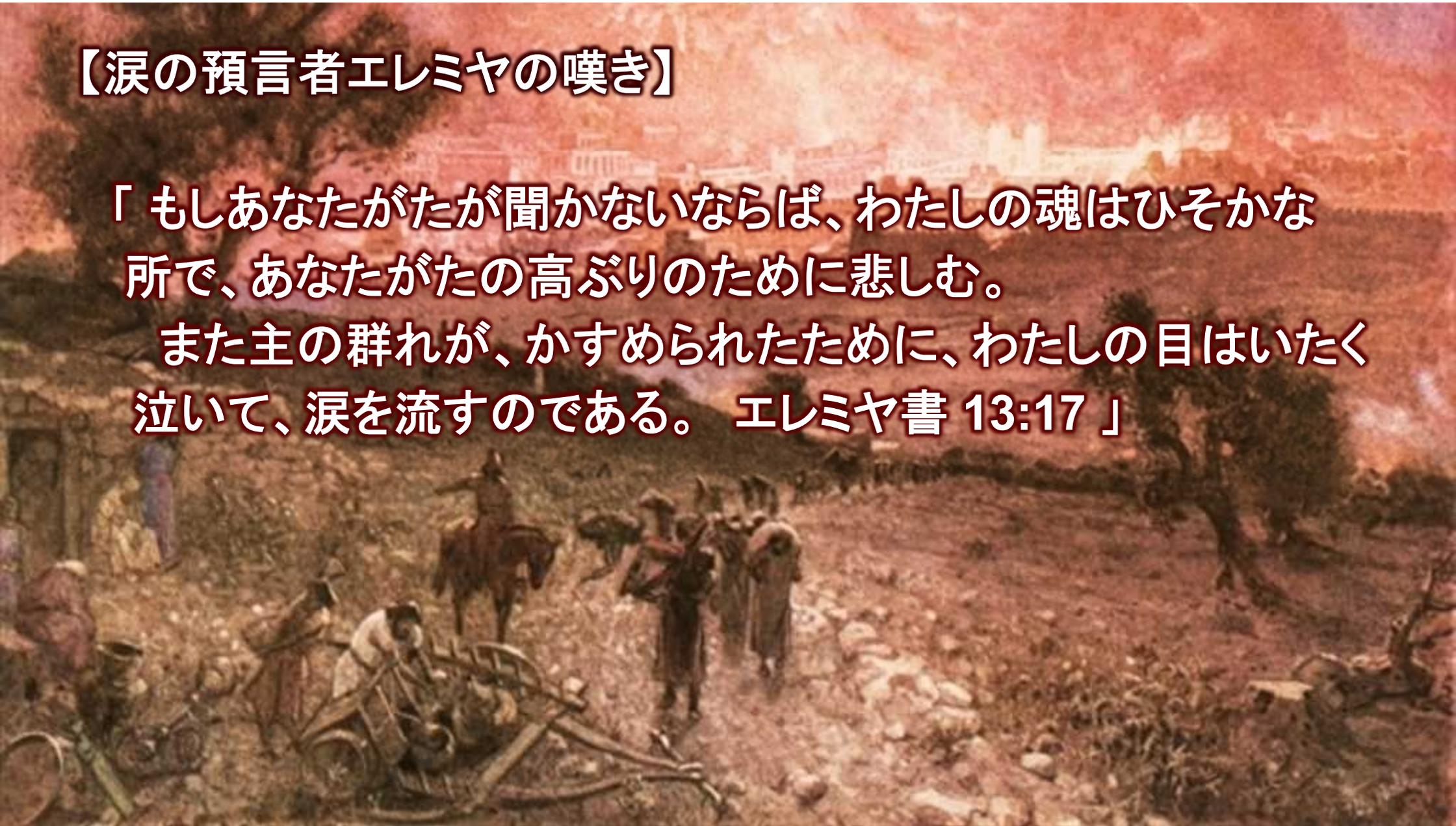
しかし、イスラエルは、エレミヤを拒んだ!!



【涙の預言者エレミヤの嘆き】

「もしあなたがたが聞かないならば、わたしの魂はひそかな所で、あなたがたの高ぶりのために悲しむ。

また主の群れが、かすめられたために、わたしの目はいたく泣いて、涙を流すのである。 エレミヤ書 13:17」



【エレミヤとイエス】

福音を告げ、イスラエルに拒まれた**イエス**に、ユダヤ人たちは、**エレミヤ**の姿を重ねた。

マタイ福音書16:13～14

「人々は人の子をだれだと言っていますか」
「バプテスマのヨハネだと言う人もあり、エリヤだと言う人もあります。またほかの人たちはエレミヤだとか、また預言者のひとりだとも言っています。」



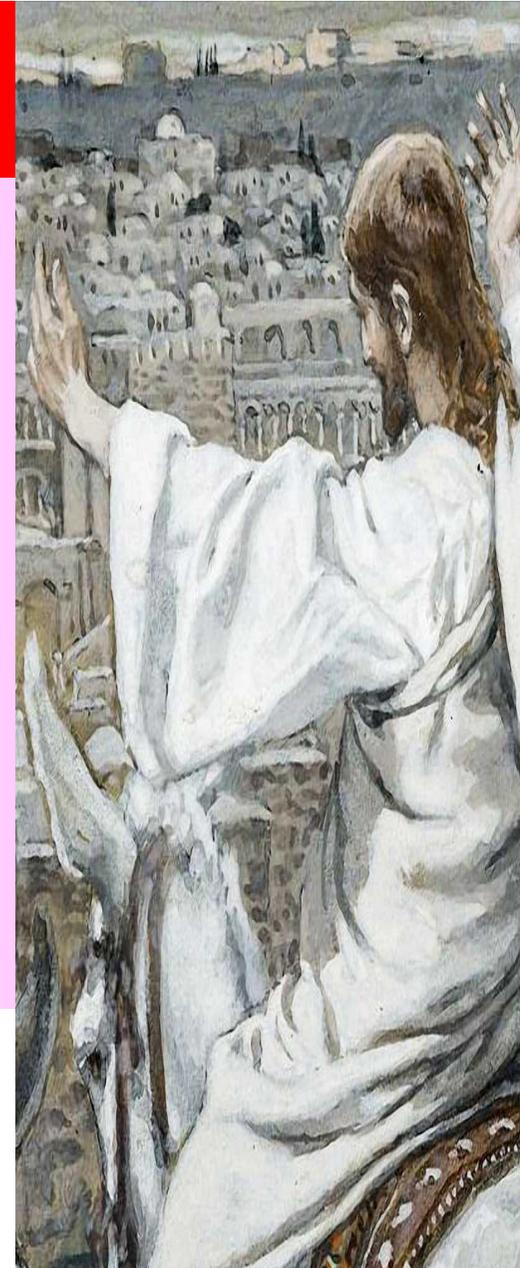
【エレミヤの生涯】

- ・バビロンの脅威の時代。
- ・生涯独身。
- ・民から拒否された。
- ・裏切りもの扱いされた
- ・偽預言者に攻撃された。
- ・最も苦しんだ預言者

【キリストの生涯】

- ・ローマの脅威の時代。
- ・生涯独身。
- ・民から拒否された。
- ・裏切りもの扱いされた。
- ・偽教師に攻撃された。
- ・究極の苦しみを負った。
(神の怒りを受けた)

共に、エルサレムのために涙を流し、崩壊を預言した。



【エレミヤの預言通りのイスラエルの結末】

①587年、バビロン捕囚。

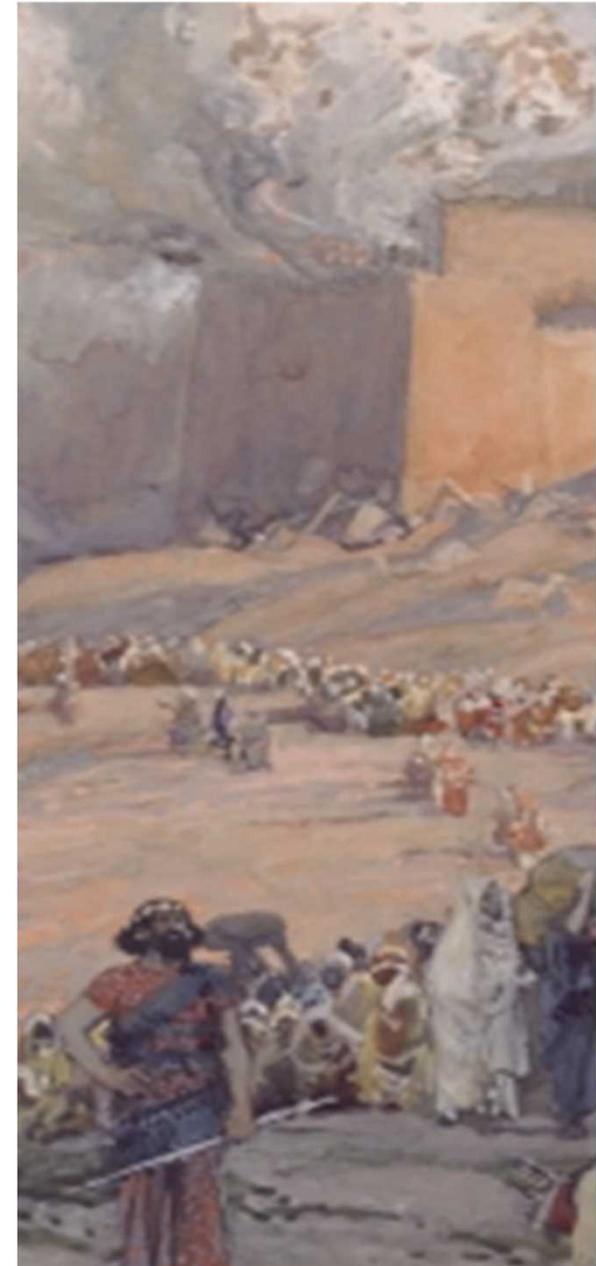
バビロニアの侵略により、エルサレム神殿は破壊、住民の多くは捕囚として強制連行。

②70年後、ペルシャがバビロニアを滅ぼす。

イスラエルは、捕囚から解放され、帰還。
エルサレム神殿の再建を開始。

...この後も、苦しみは続いた。

※捕囚後、エレミヤは、エルサレムに残った人々に
無理矢理エジプトに連行され、エジプトで死んだ。
...伝承では、石打ちで殺されたと言われる。



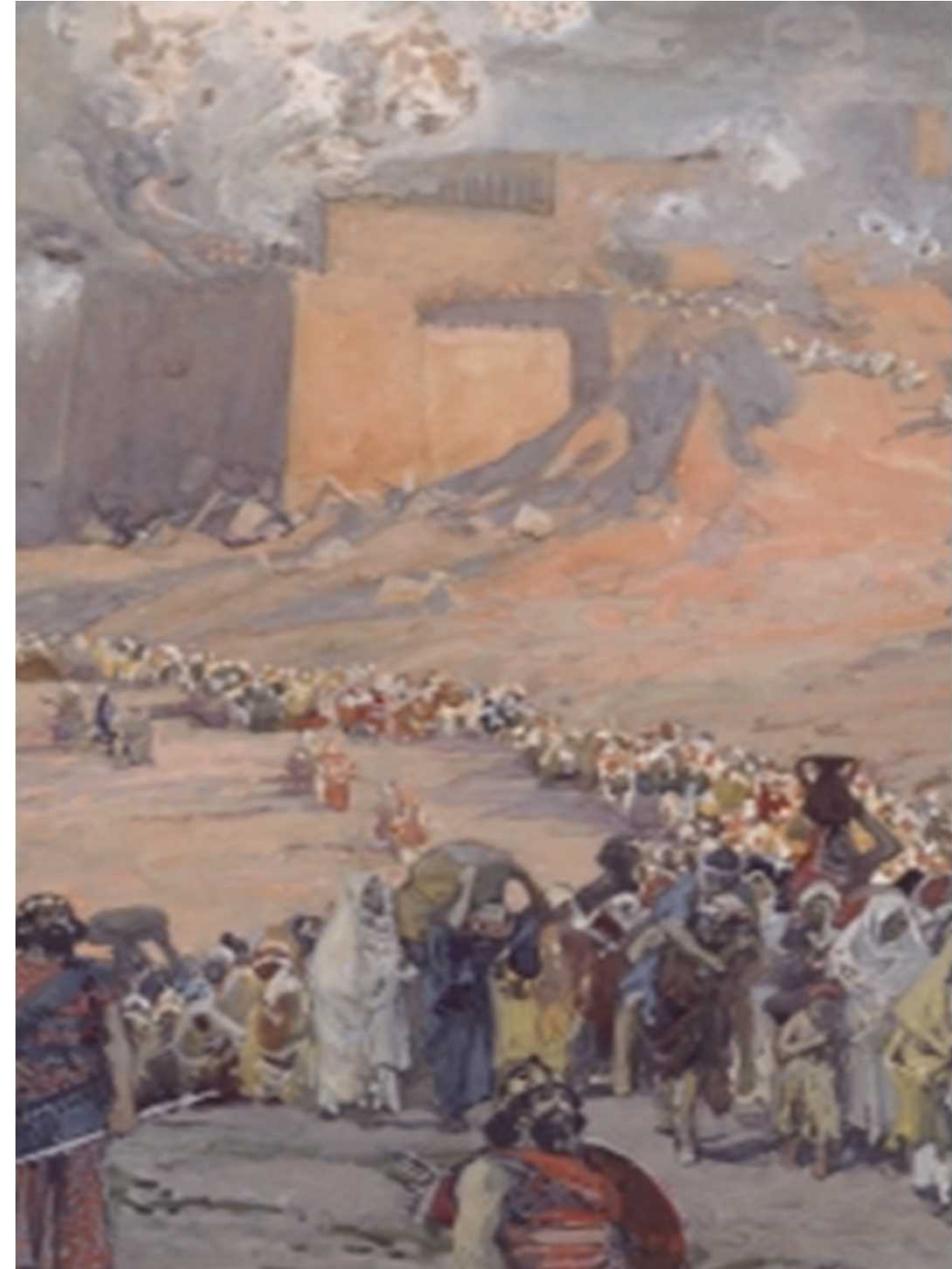
IV. 新しい契約

エレミヤ書31:31~34



【新しい契約とは？】

- エルサレム陥落が迫り、エレミヤに対する迫害は増し、偽預言者との対決も激しさを増すそのさなかに与えられた契約。
- 絶望的な状況の中で、神がイスラエルと結んだ契約。8つの契約の中で、最後のもの。



【新しい契約とは？】 エレミヤ31:31～32

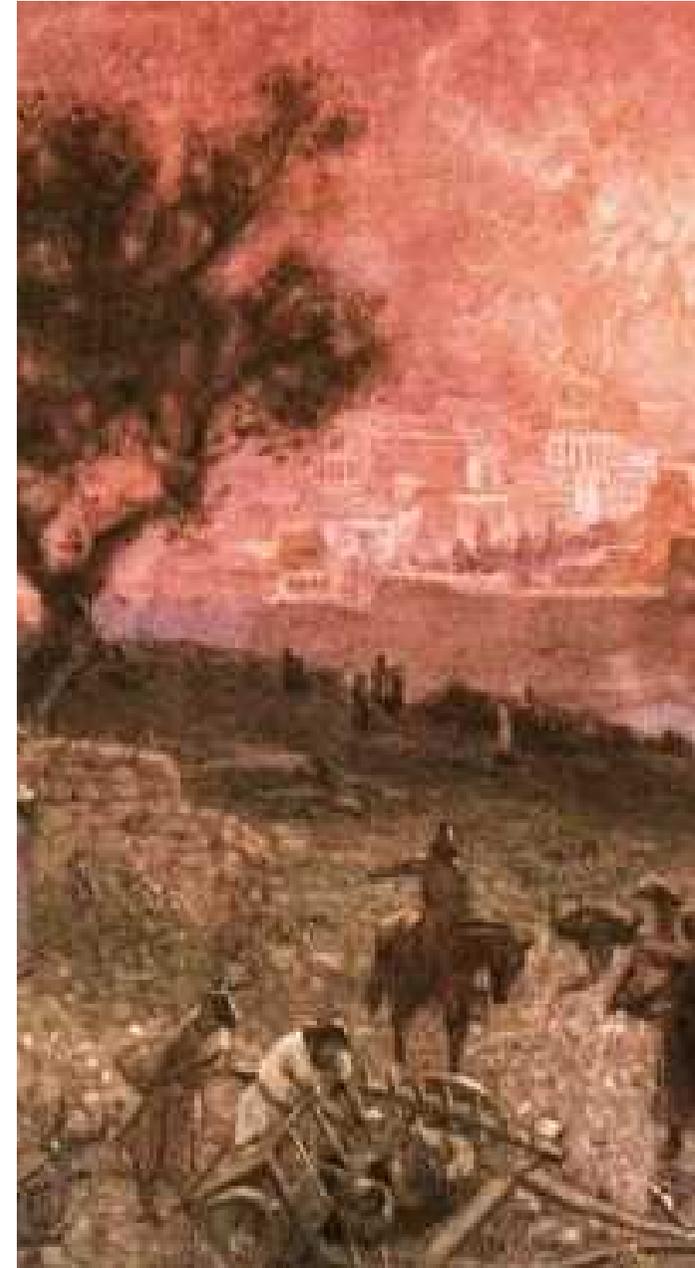
「見よ。その日が来る。—【主】の御告げ—

その日、わたしは、イスラエルの家とユダの家とに、**新しい契約**を結ぶ。

その契約は、わたしが彼らの先祖の手を握って、エジプトの国から連れ出した日に、彼らと結んだ契約のようではない。わたしは彼らの主であったのに、彼らはわたしの契約を破ってしまった。—【主】の御告げ—」

■ **モーセ契約**は、イスラエルによって破られた。

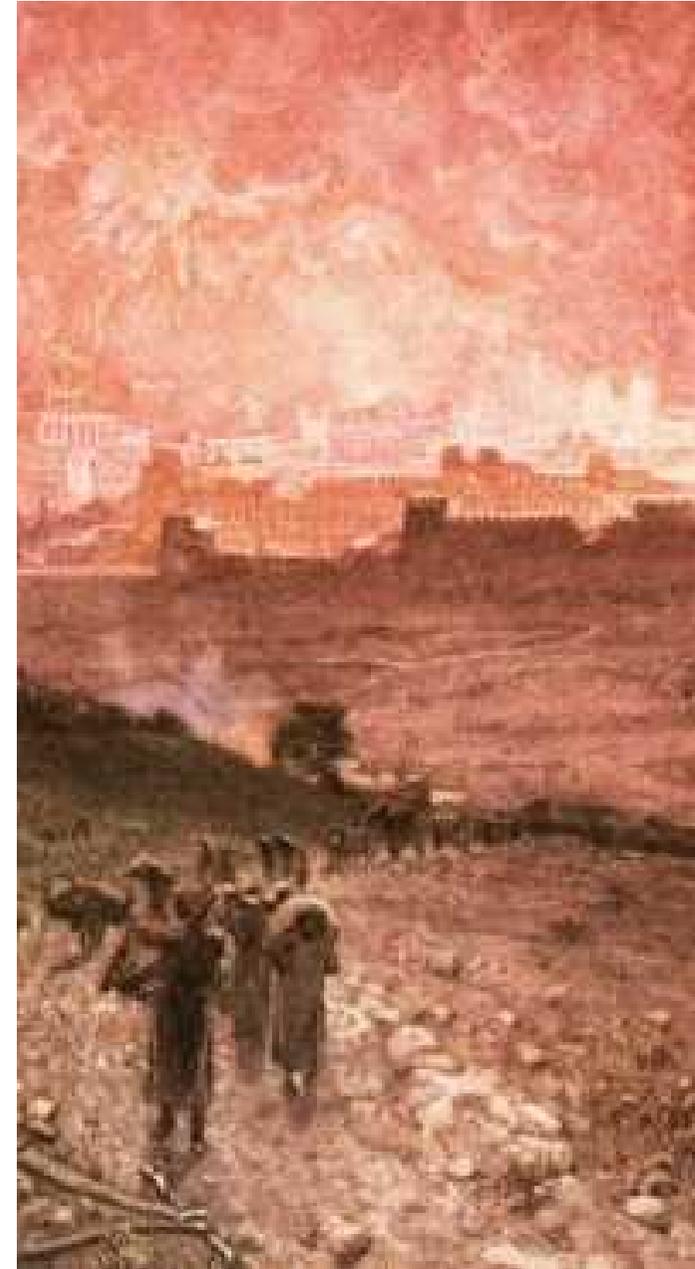
■ 代わって、無条件の**新しい契約**が結ばれる。



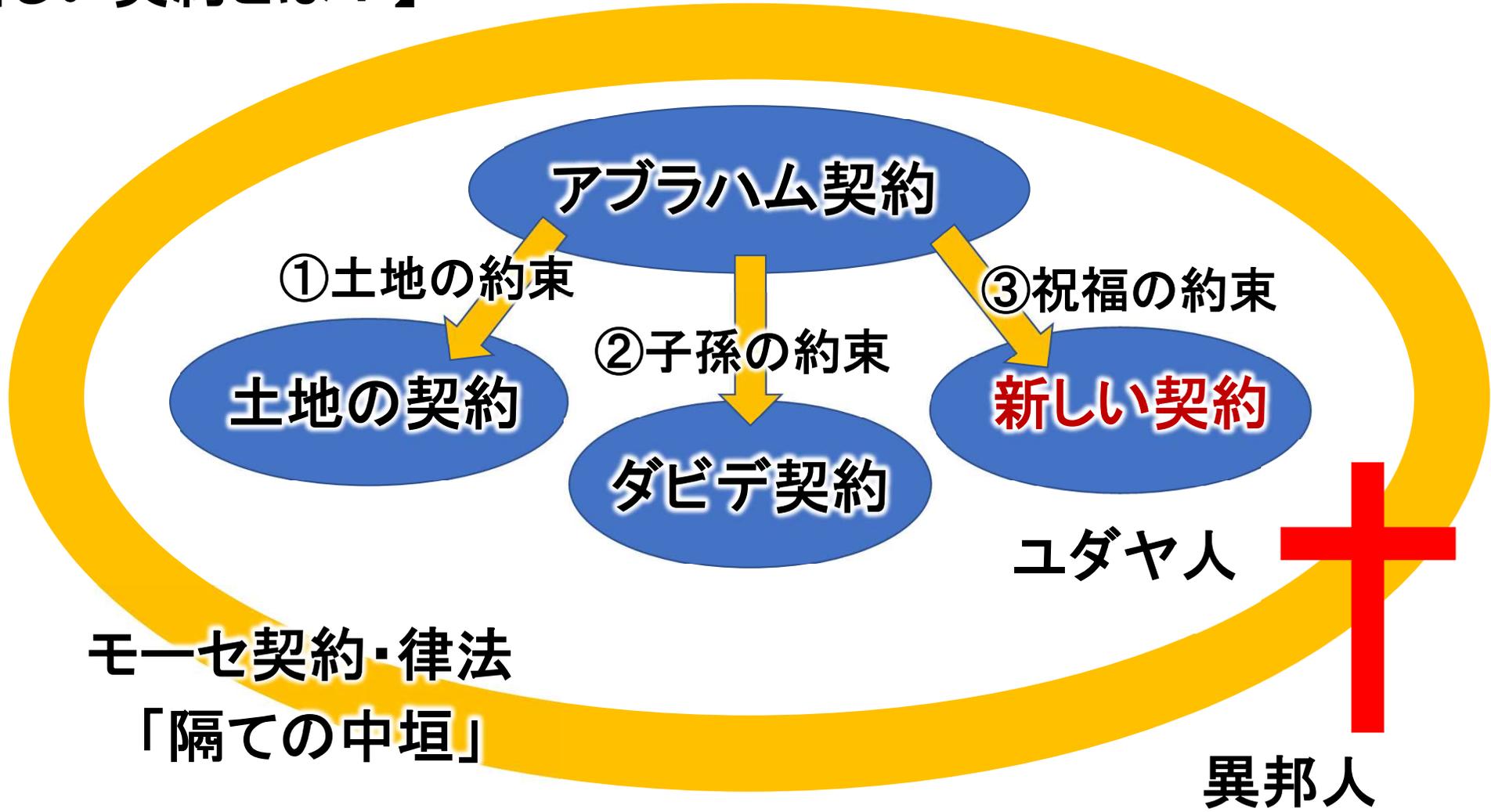
【新しい契約とは？】 エレミヤ31:33～34

「彼らの時代の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうだ。—【主】の御告げ—
わたしはわたしの律法を彼らの中に置き、彼らの心にこれを書きしるす。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。」

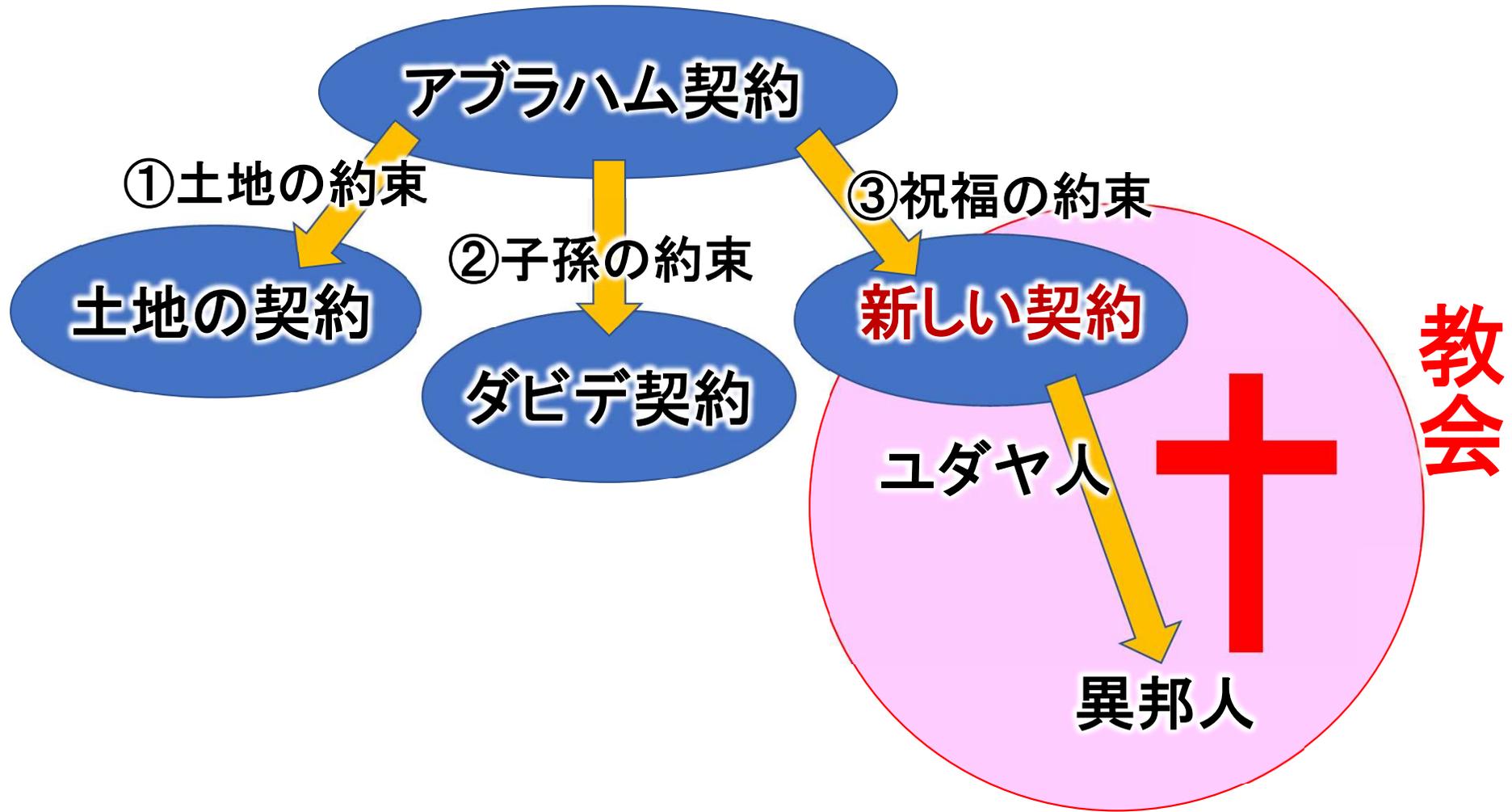
- モーセ契約・律法の十戒は石板に刻まれた。
しかし、イスラエルは律法を守れなかった。
- 新しい契約は、律法の時代の後、
聖霊によって、信じる者の心に記され、
聖霊が実行する力を与える。



【新しい契約とは？】



【新しい契約とは？】



【新しい契約の特徴】

- ①神が、エレミヤを通してイスラエルと約束したものの。
- ②無条件契約。
- ③モーセ契約とは異なるもの。
- ④イスラエルの回復・霊的再生を約束。
➡終末(大患難時代)のイスラエルの民族的救い。
- ⑤「アブラハム契約」の「祝福の約束」を引き継ぐ。
➡イスラエル(ユダヤ人)と異邦人の救いを示す。
- ⑥罪の赦し。新生。聖霊の内住を示す。



【新しい契約の一番のポイント!!】

■「モーセ契約(律法)」も、恵みだった。

■問題は、“罪ある人間には、
律法を守る力がない”ということ!!

■しかし、「新しい契約」は、
人間の内側に、神の法を守る力を与える
ことを約束した!! →“心に書き記す”

■信じた者の内に住まわれる聖霊が、
神に従う力を与え、人を変えていく!!

■イエスが十字架で死んで復活し、
50日後、弟子たちに聖霊が降った時、
「新しい契約」が施行された!!

新しい契約は

エレミヤの時代に約束され

最後の晩餐で締結され

ペンテコステに施行された

V. エレミヤに学ぶこと

～主は万事を益とされる～



【エレミヤは失敗したのか？】

- エレミヤの預言は、ことごとく拒絶された。
王とイスラエルは、悔い改めず、エルサレム陥落をまねいた。
- 捕囚後の帰還の約束をも拒んだ民は、エジプトに逃れ、死んだ。
エレミヤも、エジプトに連行され、民に殺された。

【キリストは失敗したのか？】

- メシアのゆるがぬ証拠を見せたイエスを、イスラエルは公に拒んだ。
➡40年後、エルサレム陥落。神殿は破壊され、民は散らされた。
- イエスは、
ユダヤ人からは、悪霊の頭、神を冒瀆する魔術師とされ、
ローマからは、反逆者とされ、十字架で死んだ。

【神は、万事を益とされる】

【口語訳】ローマ書 8:28

「神は、神を愛する者たち、すなわち、
ご計画に従って召された者たちと共に働いて、
万事を益となるようにして下さることを、私たちは知っている。」

- 涙の預言者エレミヤと、神は、「**新しい契約**」を結び、
罪のゆるしと、永遠の命の約束を与えられた。
- 主イエスの十字架と葬りと復活の福音を信じた、
すべての人の内に聖霊がおられ、永遠の命に導く。
- 信じる者と神が共に働いて、万事を益とされる。

「天のお父さま。

わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

- ①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、
- ②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、
- ③三日目に復活(ふっかつ)したことを、を信(しん)じます。

エレミヤを通(とお)して与えられた、

約束(やくそく)の聖霊(せいれい)が、

今、私たちの内におられ、私たちを変え、

成長(せいちょう)させ、永遠(えいえん)の王国(おうこく)へ

導(みちび)いてくださることを 感謝(かんしゃ)します。

主(しゅ)イエス・キリストの御名(みな)によって祈ります。

アーメン」